

令和4年3月9日

園児 保護者 各位

学校法人日高学園

認定こども園日高ななつ星 園長 千葉 正睦

認定こども園日高さくらの木 園長 千葉 洋子

令和3年度学校法人日高学園学校評価の公表について

早春の候 保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本園の教育保育活動に対しまして温かいご理解とご協力を賜りまして心より厚く御礼申し上げます

さて、標記につきまして過日、認定こども園日高ななつ星並びに認定こども園日高さくらの木の教職員による自己評価、保護者様によるアンケートを実施し、その結果を学校評価委員会の皆様に報告し、評価をいただきました。

つきましては、保護者の皆様に日高ななつ星並びに日高さくらの木の学校評価の内容を別紙のとおり報告いたします。

保護者並びに学校評価委員の皆様におかれましては、ご多用のところ沢山の声を園にお寄せいただきましたこと心より厚く御礼申し上げます。皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の園の運営お呼び教育活動に役立てて参りたいと存じます。

記

1 令和3年度学校法人日高学園学校評価委員会（第2回目）

- ① 日 時 新型コロナウイルス感染症拡大による岩手県独自の緊急事態宣言発令により、紙面で実施
- ② 次 第
- ③ 学校評価委員

役 職	氏 名
学校法人日高学園 評議員	辻山 文恵 様
学校法人日高学園 評議員	千葉 二郎 様
学校法人日高学園 評議員	岩木 吉幸 様
学校法人日高学園 評議員	高橋 健太郎 様
学校法人日高学園 評議員	鈴木 奨 様
学識経験者	高橋 豊和 様
学識経験者	小澤 絹子 様
学識経験者	佐々木 竜哉 様
学識経験者（外国人枠）	高橋 ウィチター メイ 様

認定こども園日高ななつ星PTA 会長	小平 竜太 様
認定こども園日高さくらの木PTA 会長	佐藤 貴幸 様

説明者

氏名	所属・職
千葉 正睦	認定こども園日高ななつ星 園長
千葉 洋子	認定こども園日高さくらの木 園長
千葉 真紀	認定こども園日高さくらの木 副園長・事務長
川原 美智子	認定こども園日高ななつ星 主幹保育教諭
菊地 美樹子	認定こども園日高さくらの木 主幹保育教諭

④ 学校評価委員の意見（評価）の要約

- ・一人ひとり、同じ目線に立ち、気持ちに寄り添って対応する、声掛けを意識するなどなかなか難しいことだが、職員みんなが常に気を配り子どもたちと接しているからこそ、アンケートにあったように喜んで園に通っているのだと思う。

学校評価

（両園共通）

- ・各項目については、それぞれが大変に重要な事柄ではあるが、その内容すべてを完璧にクリアするとなると非常に難儀なことと感じた。
- ・全体的には教職員がそれぞれに一生懸命に子どもたちの成長を願いながら教育保育に携わっていると感じた。また、さらに良くしていこうとする姿勢、あるいは教職員としてのさらなる成長を願っていることも察しられた。
- ・教職員同士での情報共有等についてはICTのツールを活用しながらよくできていると思うとする自己評価がある反面、直接に話をする機会を設けたいと願う教職員も多くいるのではと感じた。

保護者アンケート

（両園共通）

- ・回答者の9割以上の保護者から評価をいただいているものと思う。自由記載欄からも、子どもたちの成長を実感されている多くの保護者の方々がいると感じるし、そのことは、総じて園の教育・保育目標を達成しようと、日々研鑽努力されている教職員の成果であろうと強く感じている。

（ななつ星）

- ・ICTを活用することで情報共有を図りながら、一方で別途話し合いの場の必要性を教職員の皆が感じているのは大変レベルが高いと感じた。活用したうえでのこの意見は、情報共有のレベルそのものが高くなっている表れだと思う。
- ・各項目において、成果と同じくらいの課題が挙げられており、深く考え、あるべき姿を思

考しているように感じた。

- ・子どもたちへの声掛けも皆実行し、自然な姿として定着してきていると感じる。

(さくらの木)

- ・教職員の皆の姿勢が自己評価の成果・課題の文章にとてもよく表れていると感じた。
- ・自己評価の中で低い回答をしている項目も見受けられたが、コメントを見る限り、おそらくあるべき理想が高く、ポジティブな意味で「まだまだできることがある」ということだとは思いますが、何か考えられることがあれば伺いたい。
- ・保護者からのアンケートも様々寄せられており、とても良い関係を築いているのではないかと思う。

- ・園長先生をはじめ、先生方の創意工夫の結果がアンケート結果に現れていると感じた。また、積極的に新しいことに取り組み、業務効率化を図っており、とても素晴らしいと思った。

学校評価

(ななつ星)

- ・先生方が、保護者からの意見や希望をすぐに上司と相談する、職員全体で情報共有している姿勢がとても良い。保護者への回答は、園としての回答であること。子どもや保護者への対応がダブルスタンダードにならないようにすること。そのためにも、この姿勢は大事にして欲しい。
- ・「保護者からの意見をそのままにしないように、すぐ行動を心がけたい」「対応が遅れないように、常に誠意を持ち丁寧に対応する」等の記述は、普段から園内で話題にしたり、先生方が意識したりしていることの表れだと感じた。

(さくらの木)

- ・子どもの食生活に関する項目は、家庭の協力が必要であり、子どもの好き嫌いが1つだけでなく、多い場合もある。評価を見ると低くなっているが、なかなか成果が出にくい項目だからだと感じた。しかし、先生方の記述を見ると、かなり意識して取り組んでいることが伝わってくる。子どもが1回でも2回でも苦手な食材を食べられた、好き嫌いが1つなくなったというだけでも成果だと思う。
- ・資料から、昨年4月に比べて現在の一人ひとりの様子を見ると、少しずつ改善されてきているのではないかと思う。

保護者アンケート

- ・両園共通して、肯定的評価が90%を超えています。自由記述欄から、保護者が子ども絵たちの姿からわが子の成長を感じている内容が多くみられた。これは、先生方が地道に指導してきたことが子どもたちの姿に出ているのだと思う。

学校評価

(ななつ星)

- ・常に目指す姿を言葉で意識し、研鑽を重ねられていることに感服する。成果も課題も日々

取り組んでいるからこそその具体性がある。

(さくらの木)

- ・教職員が気軽に相談しあえる雰囲気がある。向上心を持ち、多忙な中の研修、特に繰り返し訓練は素晴らしい。
- ・食育の中で忘れてほしくない事のひとつに「楽しい雰囲気の中で一緒にいただく」があると思う。偏食をなくすることはもちろん大切だが、どんなに栄養バランスが良くてもそれを消化吸収するには精神状態が重要。そのことは保護者の方々にも理解をいただきたい。

(共通)

- ・子どもたちが楽しく通っているのは先生方の仲が良く、安心できる雰囲気だからではないか。

学校評価

(ななつ星)

- ・教育環境の構成について、子どもたちの興味関心と保育者の願いを合わせることが難しいと思う。そのような中でも「同じ目線で」という言葉が多く出てきていることは評価できることだと思う。
- ・積極的に研修に参加し、研究推進を図っている様子が分かった。自己評価が高くなっていることも素晴らしいことだと思う。日常的に相談できる体制をこれからも大切にしてほしいと思う。

(さくらの木)

- ・子どもたちの様子をよく観察し、共通理解を図りながら保育に当たっていることがよく分かった。情報共有はこれからも大切にしてほしい。
- ・幼児期からの食生活の充実について取り組んでいることはとても評価できること。その後の小学校・中学校での生活にも関わることなので今後も積極的に取り組んでほしいと思う。

保護者アンケート

(ななつ星)

- ・全般的に高い評価がなされていると感じた。安心して子供を通わせていることと思う。今後も保護者向けの情報発信を積極的に行うことで信頼関係を構築できると思う。

(さくらの木)

- ・保護者の喜びの声が多く聞かれてうれしく思う。子どもたちの小さな成長を見逃さずに教職員と保護者が認め喜び合うことによってさらに成長していくものと思う。

- ・コロナ禍ではあるが、フィールドトリップ（課外授業）を可能な限り行っていただきたい。
- ・子どもの送迎時、子どもの受け渡しを玄関で行うなど園舎に入らず、また、保護者や先生など他者との接触を減らすような仕組みを考えていただきたい。
- ・先生方は研修、教育に力を入れられ素晴らしいと思う。

- ・今年度も感染症対策を行い、大きな行事や日々の保育を続けてこられたことに感謝している。